

月刊



湖国が滋る・水と緑の街づくり

令和元年11月1日発行 通巻286号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜 1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

CONTENTS

- ・総務企画委員会 2
 第62回建築士全国大会 北海道大会
 参加報告
- ・建設事業功労滋賀県知事表彰
- ・女性委員会 3
 DoシリーズNo.80 ~滋賀を知る~
 国宝宝厳寺『唐門』及び重要文化財
 『観音堂』『舟廊下』保存修理工事見学会
- ・青年委員会 4
 つくえとげんばの見学会~Vol.2
 建築家 加藤 淳一氏と訪ねる
 株式会社 三東工業社 信楽本店~
- ・青年委員会 5
 あーき塾Vol.2
 ~未来へ伝えたい 匠の技と心~
- ・渉外事業委員会 6
 滋賀県被災建築物応急危険度判定士
 登録認定講習会のご案内
- ・総務企画委員会
 建築関係五団体合同年賀会のお知らせ
- ・まちづくり委員会
 2019年第10回高校生の「建築甲子園」
 審査会報告
- ・地区だより 7
- ・情報広報委員会 8
 2020年度フォトコンテスト作品募集
- ・地区別会員数
- ・11月の暦
- ・滋賀 万葉の旅 第6回
 大堀山 登口



彦根市古沢町 JR彦根駅東口

【原文】

「淡海路の 鳥籠の山なる 不知哉川 日のころごろは 恋ひつつもあらむ」

【訳】

近江路の鳥籠の山にある不知哉川のその名のように
 先のことは知らないが しばらくは、恋い慕いながら生きていよう

【解説】

第三十七代の岡本（齊明）天皇（594~661）が詠み、万葉集第4巻に収められている。旧中山道を鳥居本から西に進み、大堀町に入ると芹川の手前にこんもりとお椀を伏せたような大堀山（別名鞍掛山）があります。この山が壬申の乱の戦場となった「鳥籠山」ではないかといわれています

不知哉川とは芹川が有力だが、原町の小川との説もあり、不知也川と呼ばれている。

(公社)日本建築士会連合会の第62回全国大会 北海道大会が9月21日(土)~22日(日)、函館アリーナ、花びしホテルなどを会場として、全国より約2,880名の参加により開催されました。

大会テーマ「明日のまちに輝きを」の下、開拓時から培われたフロンティアスピリットのもと、新しい文化や技術を受け入れてきた函館の地で、北と南、地方と都市、日本と世界など、さまざまな文化や歴史が交錯するなか、それぞれを尊重し、ときには複雑に絡んだ事象を紐解き、組み直しながら、まちの「再生」から「創生」と続く、輝く未来への物語を考える大会となりました。大会式典をはじめ、記念展示、第7回全国ヘリテージマネージャー大会、地域実践活動発表会(青年委員会)、女性委員会セッション、空き家まちづくりセッション、福祉まちづくりセッション、防災まちづくりセッション、情報部会セッション、環境部会セッション、歴史まちづくりセッション、函館夜景バスツアー、大交流会等々、多くのプログラムを通じて情報収集や会員交流を行うことができました。

滋賀からは会員18名、一般8名の26名で参加をいたしました。

また、坂田徳一氏(湖西滋賀地区)が日本建築士会連合会会長表彰を受賞されました。

坂田氏は昭和57年に本会に入会され、理事を4期8年努められ、平成26年度より湖西滋賀地区委員会委員長、湖西滋賀地域会代表として地域の活性化、組織の強化、建築士・建築士会の広報など会員の地位と技術の向上に尽力された功績が評価され、令和元年9月21日、第62回全国大会北海道大会にて表彰されました。

今後益々のご活躍をご期待申し上げます。



受賞式に参列する坂田徳一氏



参加者集合写真



建設事業功労滋賀県知事表彰



表彰された古川政博氏

古川政博氏(湖北地区)は、平成4年4月に本会に入会し、平成17年5月より理事を8期14年1ヶ月務められ、持前の責任感と行動力により、会員の増強や組織の強化、会の健全な運営に取組み、平成22年5月より平成28年5月までの6年間、湖北地区委員会委員長、湖北地域会代表として地域の活性化、組織の強化、建築士・建築士会の広報など会員の地位と技術の向上の為尽力されました。平成29年5月より2年間、渉外事業委員会の委員長として建築士の定期講習の監理員と運営等にも尽力された功績が評価されました。受賞を心よりお祝い申し上げます、ますますのご活躍を祈念いたします。

「秘境のパワースポット」として多くの支持を集めている竹生島にて、研修見学会を行います。西国三十三ヶ所三十番札所にもなる国宝宝厳寺（ほうごんじ）の『唐門』・重要文化財『観音堂』『舟廊下』の全面屋根葺き替え修理、彩色・漆塗りの修理、及び飾り金具の修理事業（平成25年4月から令和2年3月までの6ヵ年の継続事業の予定）が行われており、今回はその内容・工法を見学し、現場担当の方から保存修理の話を伺います。また宝厳寺と都久夫須麻神社（つくぶすまじんじゃ）の歴史について話を聞きながら広がる景色を楽しみ、心身のリフレッシュをしませんか。



竹生島

開催日時：令和元年11月23日(祝土)

研修場所：滋賀県長浜市早埼町 竹生島宝厳寺・都久夫須麻神社

定員：30名

CPD単位：取得予定

参加費：会員500円・会員外700円
(船賃は各自ご負担ください。)

申込締切：令和元年11月15日(金)まで

行程：各自、今津港、長浜港より乗船し竹生島船着き場に集合
12:40～13:45

宝厳寺・都久夫須麻神社の歴史について学ぶ

13:45～15:30

宝厳寺「唐門」「観音堂」「舟廊下」の保存修理について学ぶ。

15:40 解散。



舟廊下

(参加者の方には、後日詳細をお知らせします。)

※滋賀県建築士会HP <http://www.kentikushikai.jp/> 【参加申込】からもお申込み頂けます。

女性委員会 DoシリーズNo.80 国宝宝厳寺「唐門」及び重要文化財「観音堂」「舟廊下」保存修理工事見学会 参加申込用紙

氏名	フリガナ	勤務先名称	フリガナ
連絡先	メールアドレス	携帯電話	● 会員 ● 非会員
	FAX番号		
CPD番号		地区名	

※取得した個人情報に関しましては、今回の事業以外に使用いたしません。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 (FAX.077-523-1602) (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

青年委員会

地方建築士
研鑽事業

つくえとげんばの見学会 ～Vol.2 建築家 加藤 淳一氏と訪ねる 株式会社 三東工業社 信楽本店～



シリーズ全3回に分けて展開しております地方建築士研鑽事業「つくえとげんばの〇〇〇」、本年7月30日にシリーズ第1回目の事業「つくえとげんばの座談会 Vol.1」、シリーズキーワード「〇〇〇」を「座談会」とし、実施させて頂きました。

そして今回、第2回目は「〇〇〇」を「見学会」とし、「つくえとげんばの見学会 Vol.2」は、甲賀市信楽町にあるCLTパネル工法により施工された株式会社三東工業社信楽本店にて、設計者の建築家・加藤 淳一氏をお招きし、施工者の株式会社三東工業社様のご協力のもと、設計・施工双方の視点による講演と見学会を行います。

設計者、施工者両者によるリアリティのあるお話を基に、今後さらに広がるであろう新しい工法にて施工された「げんば」を見学できる貴重な機会となっておりますので、是非みなさまのご参加をお待ちしています。

日時：令和元年12月13日(金) 14:30～17:30(14:00受付)

会場：株式会社 三東工業社信楽本店 滋賀県甲賀市信楽町江田610番地

参加費：建築士会会員 500円 建築士会非会員 1,000円

定員：20名(先着順) 申込締切：令和元年12月11日(水) CPD：3単位(予定)

講師プロフィール：加藤 淳一 氏

1968 滋賀県生まれ
1993 武蔵工業大学(現東京都市大学)工学部建築学科 卒業
1994-1995 パリ建築大学ベルビル校(U.P.8)
1995-1997 アトリエ・クリスチャン・ド・ポルザンパルク
1997-2005 FOBA
2006 加藤淳一建築設計事務所設立



※滋賀県建築士会HP <http://www.kentikushikai.jp/> 【参加申込】からもお申込み頂けます。

参加申込用紙

青年委員会 地方建築士研鑽事業 Vol.2 参加申込用紙

氏名	フリガナ	勤務先名称	フリガナ
連絡先	メールアドレス		● 会員 ● 非会員
	FAX番号	携帯電話	
CPD番号		地区名	

※取得した個人情報に関しましては、今回の事業以外に使用いたしません。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 (FAX.077-523-1602) (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

今回のあーき塾では「木造建築物」を建てる為に欠かすことの出来ない道具の重要さや、「伝統的建築物」を後世に残す為の技術について学びます。

日本で唯一の大工道具を収集、保存、研究、展示している博物館である「竹中大工道具館」にて道具の歴史や種類、しくみ、日本の木造建築を支えてきた工匠の技と心について学びます。

「神戸北野異人館」では、木造建築物の保存修理工事の状況や方法について学び、「生田神社」にて竹中大工道具館で学んだ木造建築様式の実物を見学して頂きます。

何でも便利になった現代ですが、ものづくりの心を大切にしている大工道具館で、後世に伝えたい手仕事のすばらしさを体感して頂き、北野異人館では文化財を未来に残す改修の技を習得できる機会ですので、是非ご参加ください。

日時：令和元年12月21日(土)
10:00～16:10(9:45受付)

会場：①竹中大工道具館
神戸市中央区熊内町7-5-1
山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩約3分
市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約3分
②北野異人館街
神戸市中央区北野町
③生田神社
神戸市中央区山手通1-2-1
※竹中大工道具館集合・生田神社にて解散

参加費：建築士会会員 1,000円
建築士会非会員 1,150円

定員：20名(先着順)

申込締切：令和元年12月13日(金)

CPD：4単位(予定)



竹中大工道具館



北野異人館
風見鶏の館



萌黄の館

※滋賀県建築士会HP <http://www.kentikushikai.jp/> 【参加申込】からもお申込み頂けます。

参加申込用紙

青年委員会 あーき塾 Vol.2 参加申込用紙

氏名	フリガナ	勤務先名称	フリガナ
連絡先	メールアドレス	携帯電話	● 会員
	FAX番号		● 非会員
CPD番号		地区名	

※取得した個人情報に関しましては、今回の事業以外に使用いたしません。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 (FAX.077-523-1602) (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

滋賀県被災建築物応急危険度判定士 登録認定講習会のご案内

主 催：滋賀県

開催日時：令和元年12月18日(水)

13:30~17:00

会 場：滋賀県建設会館 4階大会議室

大津市におの浜1-1-18

定 員：100名

受講資格：・住所が勤務先が滋賀県内の一級・二級・木造建築士免許取得者

および行政関係職員（行政関係職員は、2年以上の建築行政実務者に限る）

・滋賀県被災建築物応急危険度判定士認定更新希望者

（更新希望者の受講は任意です。受講いただかなくても、更新していただけます。）

受講料：無料

※申込につきましては滋賀県建築士会のホームページを御覧ください。

建築関係五団体合同年賀会のお知らせ

開催日：令和2年1月10日(金)

場 所：ホテルニューオウミ

受付：16:00~

年賀会：16:30~

会 費：6,000円

交通手段：JR近江八幡駅北口出口徒歩約2分

申込締切：令和元年12月13日(金) 13:00まで

※詳細は月刊「家」11月号同封案内書をご覧ください。



2019年 第10回 高校生の「建築甲子園」審査会報告

今年度も日本建築士会連合会より建築甲子園の募集があり、滋賀県内からは2校から2点の応募がありました。10月10日に滋賀県予選審査会が行われ、厳正な審査の結果、1点を連合会推薦作品として出品予定です。



審査委員による厳正な審査会

甲賀地区

交流親睦事業バーベキュー大会
事業報告

8月31日(土)甲賀市水口スポーツの森、西キャンプ場において、会員相互の交流を目的に「バーベキュー大会」を開催いたしました。当日は雨の予報でしたが事業が終わるまでは雨も降らず、曇り空ではありましたが、暑すぎないちょうどいいBBQ日和になりました。今回は交流事業ということで、準備からすべて全員で行います。飯盒炊飯するために薪を使って、火おこしを行い、野菜を切ったり、鉄板で料理をしたりと本格的なBBQとなりました。皆さん手際が良く、料理もできる方が多いので、BBQはもちろんですが、鉄板料理もおいしく、終始、時間が過ぎるのを忘れるくらい楽しく懇親を深めることができました。準備から片付けまで参加者で行い、会員相互の交流が図れ、盛大に事業を終えることができました。



子ども達と草花遊び



満腹BBQ

大津地区

大津市総合防災訓練に参加して

令和元年9月15日(日)、大津市総合防災訓練が大津市立藤尾小学校にて開催されました。大津地区委員会と湖西滋賀地区委員会は大津市との間で「災害時における避難施設等のセーフティチェックに関する協定」を締結しており、避難所となる体育館において、被災建築物応急危険度判定の訓練を実施いたしました。

両地区委員会においては、昨年度から大津市危機・防災対策課が所管する避難所担当員(市職員)を対象とした研修の運営に参画をしています。大地震が発生した際、まずもって派遣されるのは避難所担当員であり、両地区委員会に対する派遣依頼はさらなる安全確認が必要と判断された場合に想定されることから、訓練においては判定業務の手順のほか、未来まちづくり部建築課からの連絡体制の確認もあわせて行われました。

避難所担当員を務められる市職員からは、安全確認をする際に留意すべき事項等について多くの質問が寄せられました。今後も大津市と連携を図りながら災害時における対応力の強化に取り組んでまいります。



高島地区

活性化事業 BBQ大会を開催

高島地区では9月8日(日)に会員、賛助会員及びその家族を対象に活性化事業としてBBQ大会を開催しました。

当日は台風を心配しながらも、なんとか好天に恵まれ、高島市内の白鬚浜水泳キャンプ場(白ひげビーチ)にて、自然を感じながら、地元の食材を使った美味しいBBQを皆でワイワイと楽しむことで、会員相互及びその家族との親睦を深めることができました。また、施設内のウォーターパークやボートなどを利用することができたので、子供はもちろん、大人も童心に返り楽しむことができ、大変有意義な一日となりました。



みんな笑顔で集合写真

湖北地区

長浜市産業文化交流拠点施設
完成現場見学会

8月30日(金)に長浜市で建設されている「長浜市産業文化交流拠点施設 文化福祉棟」の完成現場見学会を開催致しました。参加者は当初予定の30名を大きく上回り、集合場所である長浜市役所内会議室を埋め尽くす約70名となり、関心の深さが伺えました。現場見学前に(株)久米設計様より設計コンセプト、配置・平面・立面・構造・設備計画についてご説明頂きました。特に設計コンセプトでは「学ぶ喜びを見つけることができ、ずっと居たくなる「居場所」をつくります」というお話のもと図書館機能とまちづくりセンター機能をゆるやかに結びボーダレスにする空間、機能、動線計画のご説明を頂きました。その後、建設現場に場所を移し、(株)久米設計様、施工を担当されている岐建・材信JV様からそれぞれ、設計視点、施工視点でのこだわりや工夫、納まりといったご説明を受け、参加者からも熱心な質問が飛びました。今回の見学会を通じて、「活動」と「憩い」を織り込む工夫を勉強し、建築士として一利用者として施設オープンが非常に楽しみです。今回このような機会を頂きました長浜市様、(株)久米設計様、岐建・材信JV様、有難うございました。



設計者によるコンセプトを拝聴



床・天井・家具には長浜市産材

2020年度フォトコンテスト作品募集

詳細は次号でお知らせ致します！

会員のみなさまの自慢の作品をお待ちしております。

- 作品のテーマ** 「つなぐ」・「フリー」（風景・建物などテーマは問いません）
- 応募資格** 会員による自作作品とします。
- 応募作品** 4つ切（カラー・モノクロ）、ワイドタイプ可、応募点数は問いませんが、作品は未発表のものに限ります。
- 賞金** 大賞作品、入選作品には賞金を予定しています。
- 主催団体** 公益社団法人滋賀県建築士会



地区別 会員数	支部	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	湖西滋賀	計
	9月	202	151	80	106	84	135	64	24	846
	10月	202	149	80	105	83	134	64	24	841
	差引	0	▲ 2	0	▲ 1	▲ 1	▲ 1	0	0	▲ 5

11月の暦

1	金	友引		10	日	大安		22	金	大安	
2	土	先負	ヘリテージマネージャー上級講座 第4回	11	月	赤口	四役会・四役委員長会議	23	土	赤口	勤労感謝の日
			近畿建築士会協議会女性部会セミナー	12	火	先勝		24	日	先勝	
				13	水	友引		25	月	友引	
				14	木	先負	情報広報委員会	26	火	先負	
3	日	仏滅	文化の日	15	金	仏滅	継続能力開発委員会	27	水	大安	
4	月	大安	振替休日	16	土	大安		28	木	赤口	総務企画委員会 地域貢献活動センター委員会
5	火	赤口		17	日	赤口					
6	水	先勝		18	月	先勝		29	金	先勝	
7	木	友引		19	火	友引		30	土	友引	近畿建築祭 奈良大会
8	金	先負		20	水	先負					
9	土	仏滅		21	木	仏滅					

滋賀 万葉の旅 第6回

大堀山 登口

原町を流れる「不知哉川」の源のある東山は、古くから「山神さん」として信仰され、山頂付近の一角には石を四角に敷き詰められた上に小さな石塔がおかれ、3月と12月の祭礼には原の人々が参拝に訪れます。彦根インターチェンジ近くの原八幡神社の社内には、聖徳太子建立の伝承を持つ永光山宝瑞寺がありましたが、明治の神仏分離で廃寺となりました。その後、中興開山の墓石などわずかにその姿をとどめていましたが、近年の神社境内の整備に際して供養塔が建立されました。神社境内の整備が進むと同時に、平成9年には、氏子たちによって日本一の太太鼓が奉納されました。

